

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和2年2月13日

審査機関名 ソロテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	木質バイオマスボイラの新設プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC1148
排出削減事業者名	都城地区プレカット事業協同組合
排出削減共同実施事業者名	株式会社F Tカーボン 合同会社F Tカーボンマネジメント
事業実施場所	都城地区プレカット事業協同組合 (宮崎県都城市丸谷町 4708-1)
事業の概要	木質バイオマスはカーボンニュートラルが適用され、CO ₂ を実質的に排出しないものとみなされるため、バイオマスボイラを導入しなかった場合に想定される灯油ボイラに比べて、CO ₂ 排出量を大幅に削減する。
排出削減量の計画	2011年度：1,535 tCO ₂ /年 2012年度：3,684 tCO ₂ /年 2013-2018年度：3,724 tCO ₂ /年 2019年度：2,142 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 29,705 tCO ₂)
認証期間	開始日 2011年10月28日 終了予定日 2019年10月27日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年10月27日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 001-A ボイラーの新設

2. 本実績確認の対象期間

2017年4月1日～2019年10月27日（第5回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	13,611 tCO ₂ （2017年4月1日～2019年10月27日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 ボイラー運転日報の給水、圧力、温度データ等及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 ボイラー運転日報の給水、圧力、温度データ等、排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 ボイラー運転日報の給水、圧力、温度データ、水質分析結果等及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリングデータの記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.5により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。

	<p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果をボイラー運転日報の給水、圧力、温度データ、水質分析結果等と集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は2017年4月1日から2019年10月27日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年10月27日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する再生可能エネルギー利用量は以下の通りである。

エネルギー使用量：236,976 GJ

原油換算：6,114.0 kL

以 上